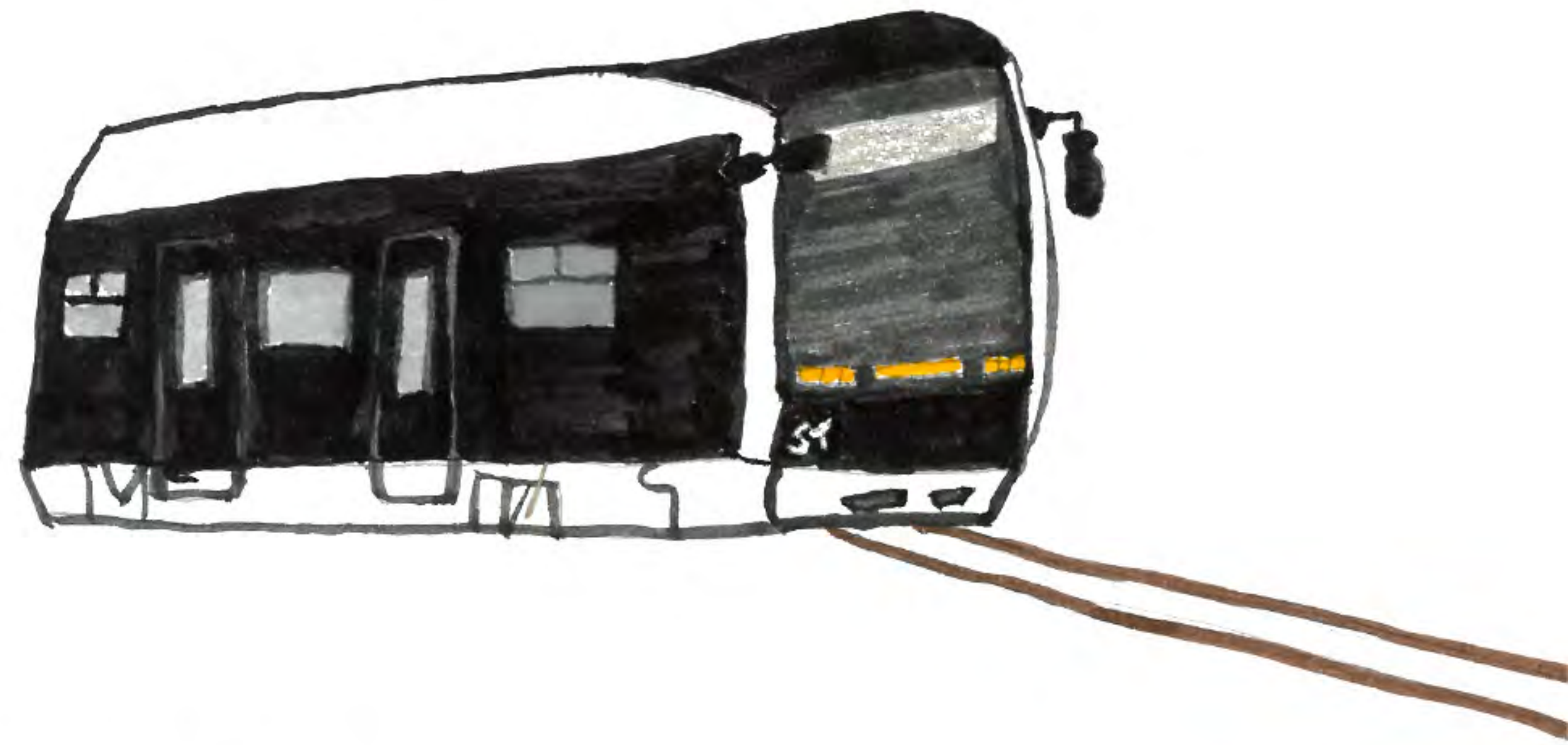


ぼくの
しってる
さっぽろしてん



ななほし ころ

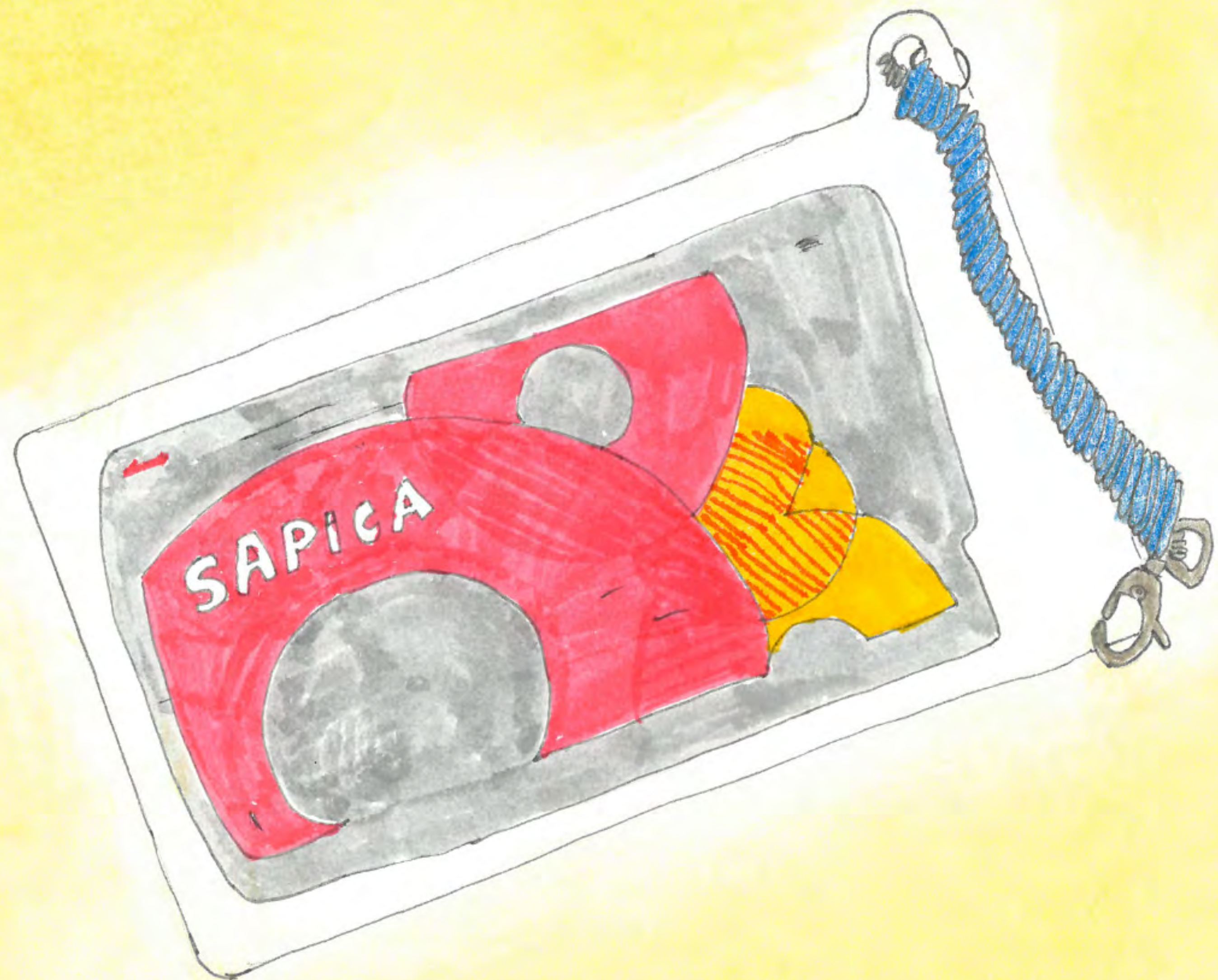


ここは、「西15丁目」のしでんのえき。

ぼくは、これからしでんにのって、さいきんはじめた
やきゅうの本をかりに ちゅうおうとしょかんへ いくところだ。

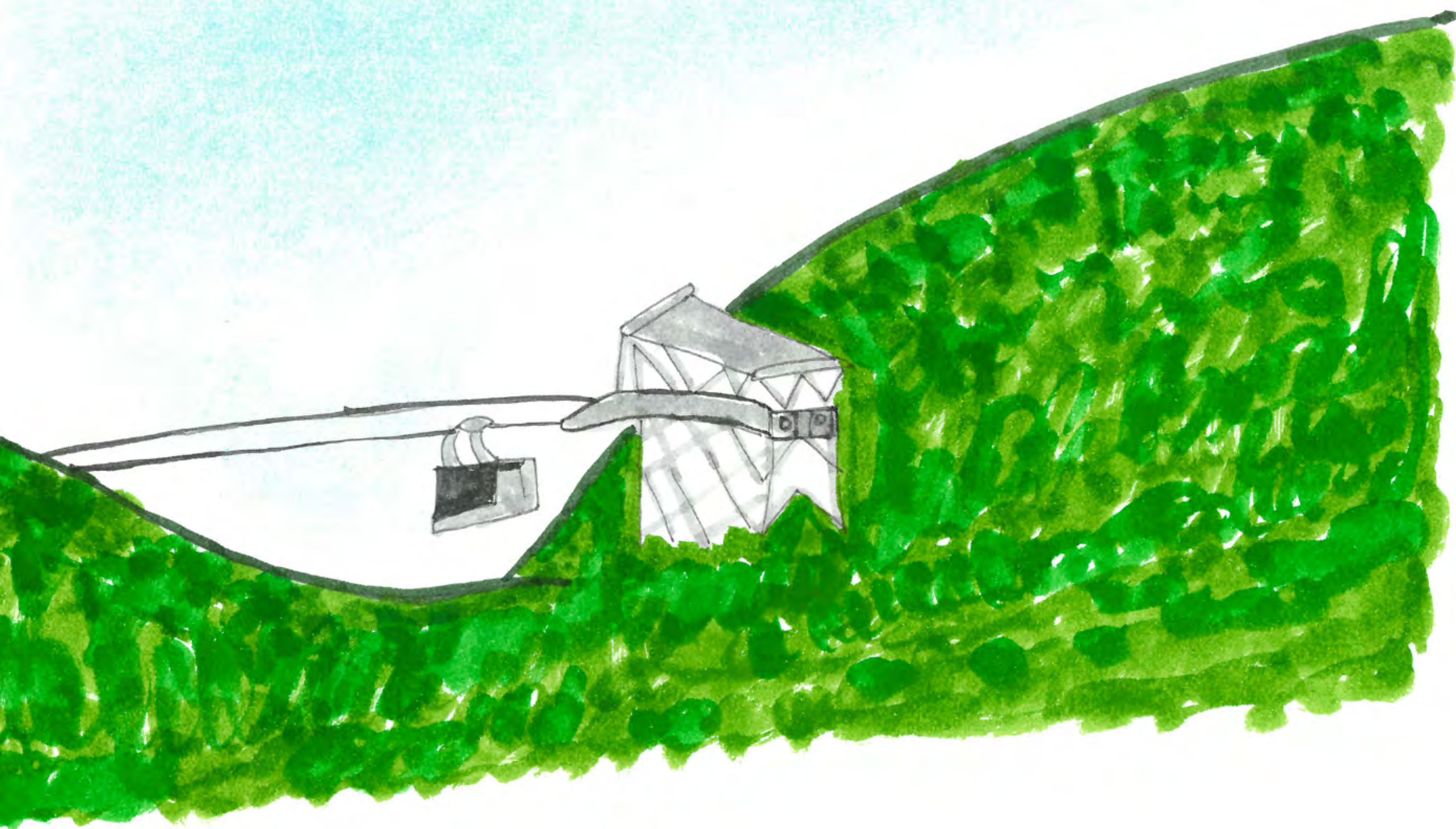


ちょうどすぐにしでんがきた。
8521、みどりいろのしでんだ。



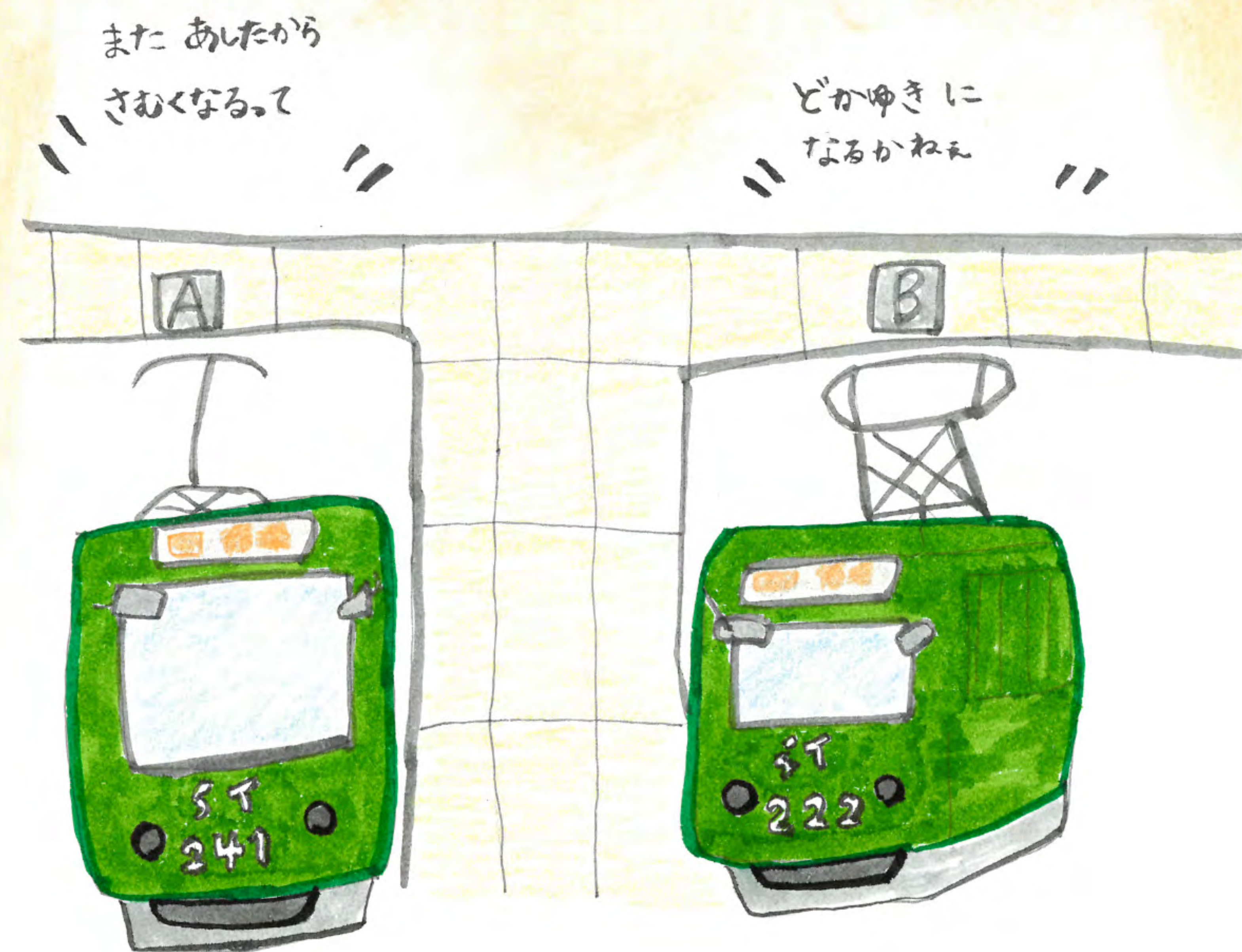
サピカをタッチして しでんにのる。
 もう1年いじょう ^{ねん}つかっている ぼくのサピカ。
 ちょっとキズがついているくらいが カッコいい。
 しでんは、すぐに しゅっぱつした。
 さっぽろしでんは、ちかてつが はしるまえは、
 いまより たくさんの ろせんがあったみたい。
 いまは「じゅんかん」といって 24かしのえきを
 グルグルまわって はしっている。





しばらく まっすぐの道^{みち}を すすんでいく。
ちゅうおうとしょかんまでの えきのなかで
ぼくがすきなのは「ロープウェイ入口^{いりぐち}」だ。

もいわ山^{やま}の ロープウェイが みえるんだ。
ロープウェイどうしが すれちがうところなんて
みられたら、さいこうに うれしい。



それから、しでんのワクワクポイントといえば、ここ。
「電車^{でんしゃ}じぎょうしょまえ」だ。
しでんたちが あつまって
なにか はなしているみたいに、みえてくる。



^{でんしゃ}電車じぎょうしょまえでは、うんてんしさんが こうたいする。
ちやいろのせいふくが、しぶくてかっこいい。



^{でんしゃ}電車じぎょうしょまえを すぎると カーブがある。
このカーブを まがると もう
ちゅうおうとしょかんが ちかい。



そういえば なつに このカーブのさきで うんてんしさんが
せんろに じょうろで水^{みず}をまいているのを みたことがある。

たぶん ちい 小さな花^{はな}に水^{みず}やり、じゃなくて あつさで レールが
ゆがまないように していたのかなあ。



ふゆは ササラでんしゃが まっしろなゆきを
はらっていくのと すれちがったことがあるけど
すごい はくりよく。

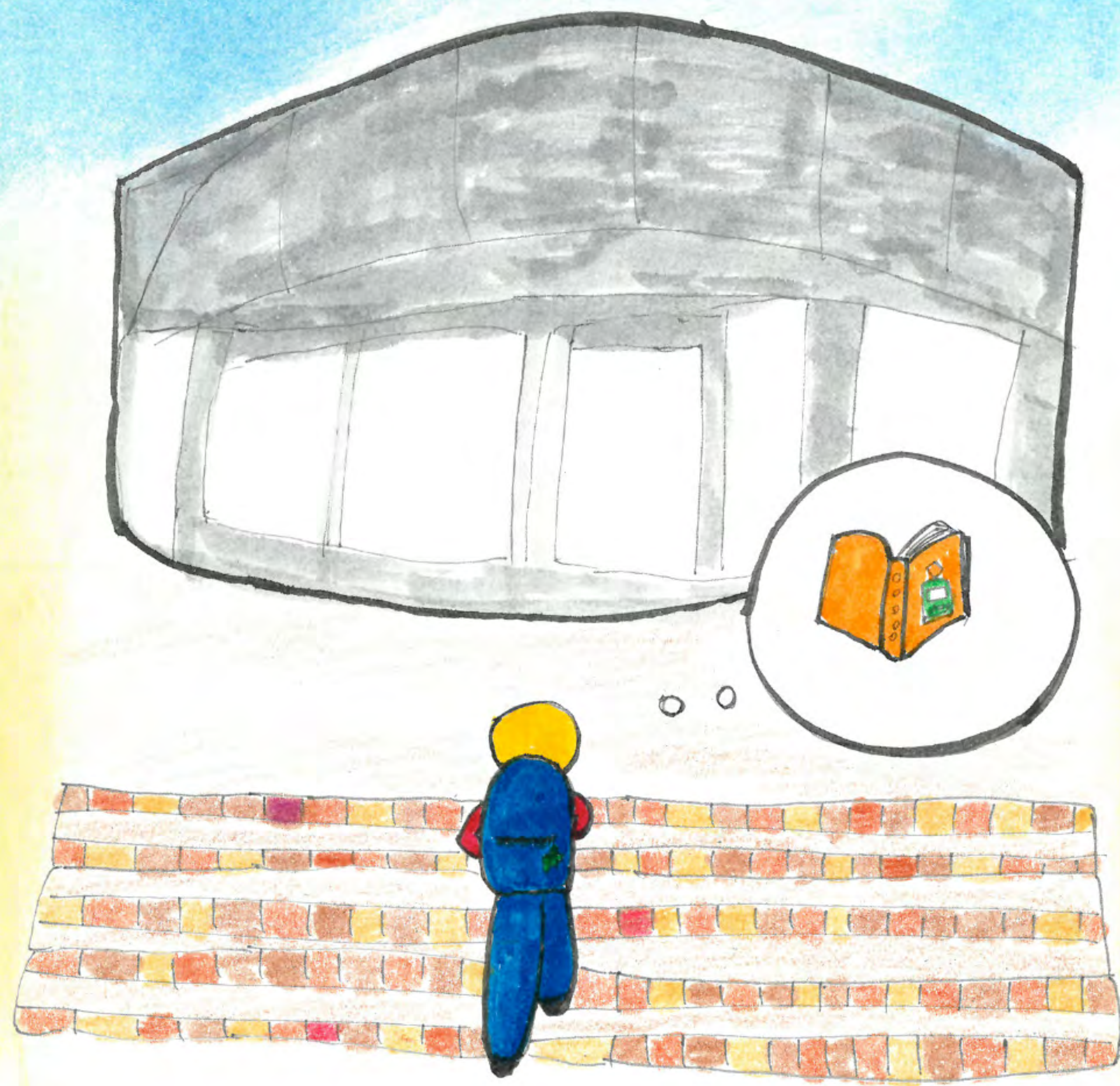


それから 101という ふるい電車^{でんしゃ}は
1961年^{ねん}から 2021年^{ねん}まで はしっていたみたい。
60年^{ねん}ものあいだ ずっと かつやくできるって すごいな。

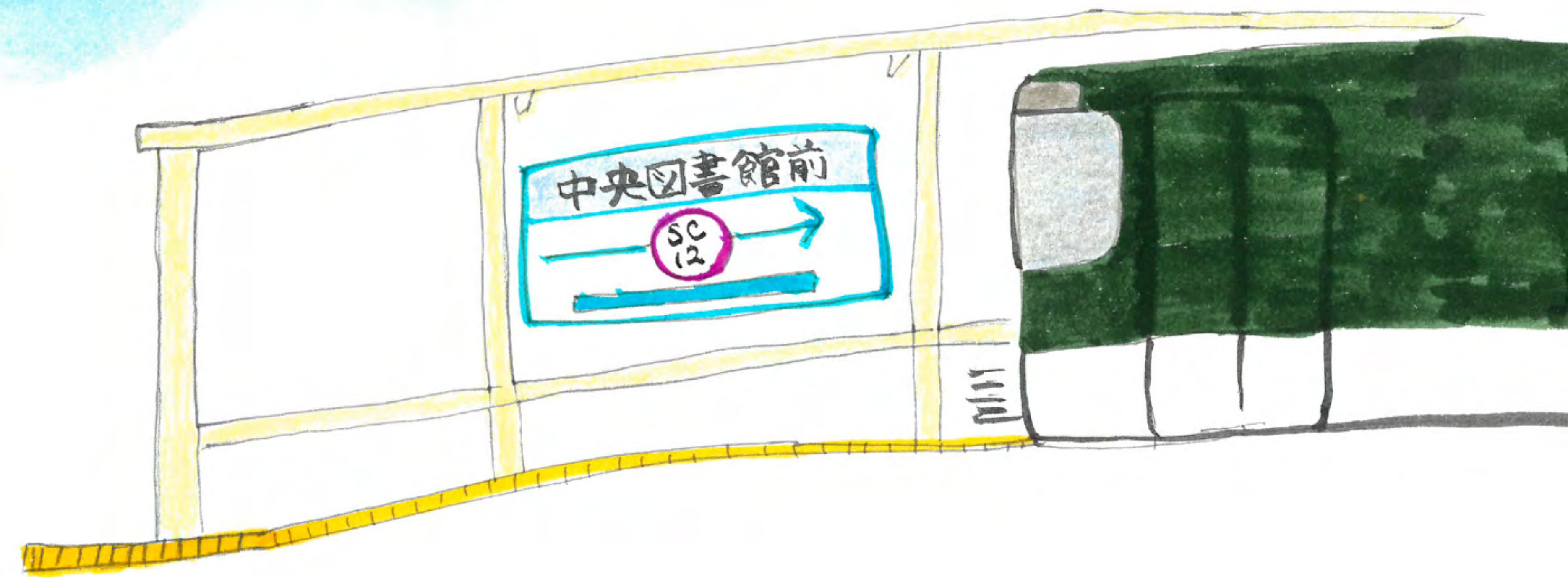
と、しでんのことをいろいろ思い出^{おも}していたら もうついた!



サピカを タッチして うんてんしさんに
「ありがとうございました」といって おりる。
しでんのホームは せまいから きをつけて あるかないと。



ちゅうおうとしょかんまでの しでんたび、たのしかった！
あ、しでんの^{ほん}本も かりちゃおうかな。



しでんくん、かえりも ^あ会えるかな。
そうだ、かえりは はんたいまわりに のろうかな。

